

【その他実績一覧】

◆医療が必要な人の割合（健康関連の最終的な目標指標）

医療が必要な人（※）の割合

（2020・2021年度：大阪ガス+基盤会社3社、2022年度：大阪ガス+大阪ガスネットワーク+基盤会社3社）

2020年	2021年	2022年
45.5%	44.1%	43.0%

※医療が必要な人とは

社内設置の健康開発センターでの定期健康診断検査結果、私傷病を含む既往歴の問診により診察医師が総合判定した結果が、①治療は要しないが、経過観察が必要、②治療が必要 となった従業員の割合。医療が必要な人の9割がたは、経過観察または定期的な通院・服薬等により症状をコントロールし、平常勤務ができています。健康診断を実施することで、通院治療を受けている等の個々人の健康状況に応じて適切な保健指導を医療職が実施しています。

◆健康診断

- ・定期健康診受診率：100%（2022年度）
- ・精密検査受診率：95.5%（2022年度）
- ・特定保健指導実施率：50.4%（2022年度）

◆メンタルヘルス対策

・ストレスチェック受検率

（2020・2021年度：大阪ガス+基盤会社3社、2022年度：大阪ガス+大阪ガスネットワーク+基盤会社3社）

	2020年	2021年	2022年
対象者数	6,352人	6,215人	6,261人
受検率(回答率)	92%	91%	89%

・管理監督者向けメンタルヘルス研修（大阪ガス+大阪ガスネットワーク+基盤会社3社、2022年度）

実施回数	参加人数
2回	147人

◆健康施策関連

健康開発センターが主催する健康施策に各社・各組織の衛生担当者が従業員に積極的に案内を実施。グループ全体の健康施策に参加しながら各社・各組織独自の健康施策を実施している。

・ヘルシー7関連

ヘルシー7のうち「食事」「睡眠」「飲酒」に関するセミナーを実施。

ヘルシー7オリンピック（禁煙）は健康保険組合と共同で実施している。

<参加状況>

種目	参加者数	参加率
ヘルシー7セミナー	657人	9.4%
ヘルシー7オリンピック（禁煙）	32人	2.7%

<アンケート結果>

・朝食セミナー

質問内容	はい	いいえ
朝食セミナーを受けて、改善しようと思ったところはありますか？	86%	14%

・ウォーキングイベント

健康保険組合と共同でウォーキングイベント（歩活）の盛り上げ策を実施している。

	参加人数	参加チーム数
歩活（春）	2,005人	347チーム
歩活（秋）	2,184人	368チーム

・その他施策

健康保険組合と共同で女性の健康動画eラーニングを実施。

4本動画閲覧数合計：5,372名

◆健康講演会

社内・グループ会社・協力会社の管理者向け健康講演会を年に1回実施。

参加人数…420人

◆業務パフォーマンス指標

	2021年	2022年
アブセンティーズム	1.7(%)	1.9(%)
プレゼンティーズム	79.8	79.8
ワーク・エンゲイジメント	51.4	51.3

【測定方法等】

・アブセンティーズム

測定方法：傷病による休業が連続14日以上となった者の全従業員数（各年の3月末時点の人数）に占める比率

対象者数：対象者数（2021年度5,854人、2022年度5,883人）

・プレゼンティーズム

測定方法：東大1項目版（0～100%）を用いた従業員調査を実施。

数値はパフォーマンス発揮度の全従業員平均。

対象者数および回答率：上記ストレスチェック受検率を参照。

・ワークエンゲイジメント

測定方法：ストレスチェック時にワーク・エンゲイジメントを測定。実績値は偏差値で算出。

対象者数および回答率：上記ストレスチェック受検率を参照。